

平成 29 年度第 2 回島根県障がい者施策審議会

【島根県障がい者基本計画の改定について】

●委員

社会モデルと社会的障壁について、わかりやすくまとめてある。基本的に ICF の考え方を取り入れたという理解でよいのかと思うが、ここで図がある方が分かりやすい部分もあるかも知れない。または「合理的配慮については資料集の中で説明する」ということであったので、資料集にあってもよいのかなと思った。

○事務局

資料集にある用語解説は、簡潔に、定義を踏まえて作成しているところです。パブリックコメントのご意見の趣旨としては「わかりやすく説明してほしい」ということなので、ある程度のボリュームをとって、計画の本文に掲載するのがよいのではないかと考え、なるべくわかりやすい解説となるように努めたところです。

●委員

学校現場では ICF の考え方を使いながらいろんな取り組みをするので、実際、字面だけではわかりにくい部分があるかなと思い、質問をした。皆さんがそれで分かりやすいということであればよいと思う。

●会長

ご意見をいただいたが、計画案を見直す必要が生じるような意見はなかったと思うので、本計画案により、事務局において、年度内の策定に向けて進めていただきたい。

【第 5 期島根県障がい福祉計画・第 1 期島根県障がい児福祉計画の策定について】

●委員

計画書は、基本的に製本せずホームページに掲載するという説明があったが、県では、他の計画もそういうスタンスで行くのか。

○事務局

県全体については把握しておりませんが、健康福祉部内の方針として、ホームページ等を使って周知していくということです。冊子がほしいという方もいらっしゃると思いますので、全く作らないということではなく、ある程度要望には応えたいと思っておりますが、必要最小限にしたいと考えております。

●会長

ご意見をいただきましたが、計画案を見直す必要が生じるような意見はなかったと思うので、本計画案により、事務局において、年度内の策定に向けて進めていただきたい。

【ヘルプマーク・ヘルプカードの交付について】

●委員

ヘルプカード配布いただき感謝する。これがあると非常に助かると思っている。

病院にヘルプマークを付けていったが、関心を持たれている方がなくショックを受けた。12月から1か月半経つ。会員から寄せられたヘルプマークについての意見を紹介したい。「素材はよい」「フックを頑丈にしてもらいたい」「取り付け方を考えてもらいたい」「何を手助けしてもらいたいかを書くところがない。どうしてもらいたいか書けるところを作ってもらいたい」「医療機関の何科に受診しているか、書くところがあればよい」。

島根県は県が率先してヘルプマークを推進してもらっており、ありがたい。

○事務局

ヘルプマークは全国統一規格になっており、他の都府県が配布しているものと同じとなっております。東京都を中心に作ってもらっているが、改良検討ということで意見を伝えていく必要があると考えています。

ヘルプカードは、折りたたみ式のものもホームページに載せています。書き込む内容も含め、改良できないかについて、今いただいたご意見を踏まえて検討していきたい。

いずれにしても、これらのマーク、カードは出たばかりということで、いろんなご意見がほかにもあろうかと思えます。なるべく使いやすいもの、利用しやすいものに改良できる点からやっていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。